

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 2月 25日

公表: 令和 8年 3月 21日

事業所名 NEOキャリア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	利用者様の安全を確保しながら室外含めて活動場所を工夫しています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	事前に配置数の調整をしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	安全面や使いやすさを定期的に確認・改善し、子どもや保護者様が安心して利用できる環境づくりに努めています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		業務改善のため、全職員が参画するようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	評価表のみならず、HUGや送迎時にも保護者様のご意見を伺う機会を設けて業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		外部講師に支援現場を確認いただき指導をいただいております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	虐待防止等の研修に職員全員が参加しており、資質向上の機会を確保しております。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	行動観察や聞き取りを基にアセスメントを行い、客観的に子どもと保護者のニーズを踏まえた計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		SM社会生活能力チェックを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員全体で話し合いをし、それぞれの強みを活かした支援を立案しています。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	5領域をバランスよく取り入れ、お子さまの発達段階や興味に応じて活動内容を柔軟に調整している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	平日は週ごとの活動、休日は電車を利用した外出体験や地域貢献活動、長期休暇は社会体験活動を取り入れ、状況に応じて課題を調整し支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	子どもの発達特性や興味・関心に応じて、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせた計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	支援開始前には、必ず打ち合わせを行い、当日利用する子どもに合わせた支援内容や役割分担を確認します。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		送迎等で支援終了後の打ち合わせが難しい場合には、支援の中で出た意見を簡潔に整理し、誰でも確認できる連絡ツールで残し、共有します。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	記録内容をもとに活動や対応方法の改善点を話し合い、支援の質を検証している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	1		ガイドライン総則に示されている基本活動を複数組み合わせ、目的やねらいをより明確にした支援の構成ができるよう支援を行います。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	会議に子どもの状況や特性を理解している職員が参画することで、的確な情報提供と支援方針の提案を行っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校との情報共有と連絡体制の整備に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2		現在、医療的ケアが必要な子どもが在籍しておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		関係機関との連携を通じて支援方針の相互理解を深め、継続性のある支援につなげていきます。

係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	移行に伴う不安を軽減できるよう、保護者と連携しながら支援計画や必要な情報の共有を丁寧に行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		専門機関からの助言や研修を受け、自己研鑽に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2		パントリー活動を通して地域の方々と交流できる機会をつくっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		協議会で得た情報や課題を事業所内で共有し、日々の支援の質の向上に活かせるように努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	送迎時に口頭やHUGなどのツールを用いて伝え、状況や課題の共通理解を持つよう努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		発達特性や思春期特有の課題を踏まえ、家庭や生活で実践しやすい具体的な関わり方を面談時や保護者会で提案しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に運営規程や重要事項説明書を用いて、内容を一つひとつ確認しながら丁寧に説明し、疑問や不安があればいつでも相談できる体制を整えています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	日々の送迎時や定期面談を活用し、保護者様の子育てに関する悩みや不安を丁寧に傾聴している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1		保護者会や交流会を定期的に開催し、保護者同士が安心して情報交換や悩みを共有できる場を設けるよう努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	ご意見や苦情があった際には速やかに事実確認を行い、経過と対応内容を分かりやすく説明します。職員間で共有し、再発防止策や支援の質の向上につなげる体制を整えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		公式LINEを通じて活動内容や行事予定を分かりやすく発信していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報に十分注意し取り扱っています。	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	個々の特性に応じて、言葉や資料の表現を工夫し、分かりやすい情報伝達を心がけています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	パントリー活動に参加し、地域に開かれた事業運営を図っています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	職員に定期研修で周知徹底しています。保護者様には緊急時の対応や連絡体制を共有しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	年2回の法定消防訓練の実施や、避難場所の確認を定期的に行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	職員に対して定期的な研修や勉強会の機会を設け、対応知識と意識の向上を図っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	身体拘束を行う場合の基準と手順を組織で統一し、事前に保護者に説明・同意を得たうえで放課後等デイサービス計画に明記しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	保護者様から事前に具体的な指示をいただき、慎重に対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で必ず共有しています。	